

## 令和7年度 さつき保育園 自己評価

「保育所の自己評価」とは「保育所保育指針」に基づき、保育の質の確保・向上を図ることを目的に、全職員の共通理解のもと、保育士及び保育所が自ら行う「保育内容の評価」です。評価の結果をもとに、組織としてよりよい保育に向けた改善を行い、さらなる保育の充実に向けた取組を行っています。

以下の観点と評価項目に沿って自己評価を行いましたので、結果をお知らせします。

評価項目	評価	評価項目	評価
保育園の理念・保育観	B	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画の改定をしている。	A
基本的事項	A	子ども一人一人の背景や保護者の状況を理解し、受け止めて安心して生活できるように個々の子どもに寄り添い支援している。	A
保健活動・安全管理	A	アトピー性皮膚炎、食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導の下に適切に対応している。	A
	A	地震等の災害に備え、防災訓練の実施・評価を行い、予防に努めている。	A
保育園の職務・役割分担	A	保育士以外の職員が保育に関わる際に、その人たちへの気配りや協力関係に配慮すると共に、保育士の役割について意識して対応している。	B
	A	自分のクラスの教材や備品を責任をもって点検・管理をしている。	B
保育士としての資質向上	A	子どもについての課題について、職員間で意見交換を行っている。	A
	A	個人情報の扱いについては規定にそって対応している。	B
行事	A	行事と日常の保育との関わりを考え、保育するよう心がけている。	A
<p>○保育理念「保護者が安心して預けられ、子どもが笑顔で通える保育園」を目指し、一人一人に寄り添ったきめ細かな保育を進めてきました。</p> <p>○令和8年度は、保育士の保育園運営に対する参画意識をたかめるため、自己評価制度を導入し資質向上に努めます。</p> <p>○「地域子育てセンター」と「一時預かり」体制の充実を図っていきます。</p>			